

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

日本は極東の島国である。東と南は果てしない海、北は寒冷の荒野、住む人は少なく貧しい。唯一、西側にだけ、狭くない海を経て途方もない大国がある。

この地理的条件のため、長い間、日本は、唯一の外国しか意識しなかった。聖徳太子の頃、韓半島を飛ばして中国に直接使者を送ってから千年以上、日本にとって「外国」といえば中国だった。だからこの国では、外国のものをすべて「唐」といった。外国の獅子ライオンは唐獅子であり、アメリカ総領事タウンゼント・ハリスは唐人である。

この外国感覚は、昭和になっても変わらない。ただここでの①唯一の外国はアメリカ合衆国である。昭和は、その三分の一に当たる二十年目に大きな亀裂がある。この年の敗戦によって、日本の体制と倫理と支配階級は完全に変わった。だが、唯一の外国がアメリカであることには変わりがなかった。ヨーロッパの知識と文化、アジア諸国や中国との経済関係は小さくはなかったが、日常の暮らしや文化で真似ることも、国家の政治経済で深刻に考慮することもなかった。戦前も戦後も、日本と日本人におおいかぶさった外国は、唯一アメリカである。

ところがそのアメリカは、国の生い立ちでも地理的風土でも、思想や社会構造でも、日本とは大いに違っていた。中でも重要なのは、物量と人手のバランスである。

アメリカは、広大な新大陸に次々と移入して来た人々が、領域を拡大しながら発展した国である。このため、常にモノ余りとヒト不足だった。西部劇時代のカウボーイは、同時代の日本の庶民とさして変わらぬ程度の生活水準であつたろう。だが彼らは牛肉をたらふく喰い、馬車を走らせ、拳銃をぶつ放つてモノを消費した。その代り、風呂も散髪も月一回、酒も食事もセルフサービスである。当時の日本人が僅かな米と野菜を食して徒歩だけで暮しながら、日々月代つきよを剃り髪を結い直していたのとは②正反対である。

そんなアメリカが二十世紀に入つて、規格大量生産体制を確立して極東に押し出して来た時、日本人はまずその凄まじい物量に脅威を感じた。そしてそれに対抗するために、個体の精巧さと精神力を強調した。前者の発想から生れたのが一艦よく百艦に勝るといわれた戦艦大和や機動性に富んだゼロ戦であり、後者から出たのが大和魂と武士道精神である。

しかし、太平洋戦争の結果は無残だった。日本軍は、緒戦の不意打ち以外はほとんど勝てず、完封負けを喫した。それを戦後の日本人は、専ら物量のせいにした。共同体化した軍事官僚組織にも、情報軽視の思考にも問題があつたが、すべてを省略して物量にだけ敗北の原因を求めた。誰も傷付けたくない日本的集団主義は生き続けたのである。

③この結果、戦後の日本は物財生産の拡大にすべてを集中することになった。そしてそのための社会経済体制を築き上げた。官僚主導と日本式経営と*職縁社会の三つを柱とする戦後型日本社会である。

この間にアメリカから多くのものを得た。最初は物資と資金の援助、次は大量生産技術と核の傘による安全保障、そして最後に限りなく赤字を垂れ流す巨大な市場である。

戦後の日本は、アメリカから多くの文化や習慣を学んだ。だが、それらすべては、アメリカの物量の思想と大量生産方式に集約できる。特に日本万国博以降の昭和最後の二十年間に、日本人は豊かな物量を惜しみなく使い捨てるライフスタイルを身に付けた。日本がアメリカ以外の国を唯一の外国としていたら、いや、アメリカを唯一の外国として学ばなかったなら、決して身に付かなかつた④文化だろう。

日本が戦後、アメリカに学んで物量豊かになろうとしたことは、日本の社会をアメリカそっくりにしたわけではない。むしろ、似て非なるもの、いや似ても似つかぬものにした。

アメリカを物量豊かな国(社会)にしたのは、広大な大地を拓いた個人の自由と激しい競争の結果である。ところが、これを真似た日本は、官僚主導と業界協調の体制と日本式経営方式によって実現した。戦後日本特有の経営方式とは、終身雇用・年功序列の閉鎖的雇用慣行と集团的意志決定を柱にしたものだ。それには、⑤アメリカとは逆の「結果の平等主義」が働いていた。江戸時代以来、「貧しさを憂えず、等しからざるを憂う」といった協調と嫉妬の構造である。

⑥アメリカが「観客に受ければ何でもあり」のプロレス型社会とすれば、日本は相撲協会の管理の下に様式を守って勝負する大相撲型の社会だ。いかなる天才も管理機構に逆らえば士俵に上がれない。外の者には僅かな違いに見える番付が力士仲間には重大な格差になる。マーケットで選ばれた者(政治家と創業者)よりも官僚テストに合格した者が尊ばれる。

戦後の日本人はみな、「一枚上」を求めて必死に励んだ。幼少から受験勉強に打ち込み、職場に入れば仲間内の評価を得ようとして残業と長い会議に耐えた。貯蓄に励み健康に留意し、子女を大学に通わせるのに神経を使った。

戦後の日本は世界の強大国となる野望を捨てた。日本が望んだのは、せいぜい「アメリカの次」である。戦後の日本人も、ほとんどは大望を持たなかった。日本人が求めたのは、郊外の戸建住宅と老後の暮しに不自由ない金融資金を持ち、職場ではほどほどに尊重されて交際費が使える、子供二人を一流大学から安全な職場に入れる程度である。規格大量生産型のアメリカに学ぶ中で、日本人の欲望も規格型の範囲に閉じこもってしまったのだ。

それでも、昭和の間は、誰もがこの規格型のジャパニーズ・ドリームを抱き得た。だが、昭和が過ぎかった今、この程度の夢さえ持たない若者が少くない。世界のヘゲモン(覇者)となったアメリカが、世界共通のグローバル・スタンダードを確立する中では、日本人独特のジャパニーズ・ドリームも虚しいものになったのだろうか。

堺屋太一の文章による

* 月代 近世、成人男子の前頭部を剃ること、また剃った部分。

* 職縁社会 職場の人間関係だけで生活の全てが完結するような社会。

問一 傍線部①の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号①

- ① 違いは文字の発音ぐらいで、同じ文字を使い、人種も道徳観も似通っている外国。
- ② 地理的に一番近く農業技術や文字や言語や宗教までを学ぶのに都合のよい外国。
- ③ 日常の暮らしや文化をまねたり、政治・経済や制度などを真剣に手本とする外国。
- ④ 地理的な遠近に関係なく我が国を事実上軍事的に支配している強大な外国。

問二 傍線部②の「正反対」の内容として適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号②

- ① 緒戦の不意打ちでしかアメリカに勝てなかった日本と十分に戦略を練って日本に勝ったアメリカ。
- ② 馬に乗って拳銃をぶっ放していたアメリカ人と馬を田起こしなどの農耕だけに使っていた日本人。
- ③ 四方を海に囲まれて広げようのない領土の日本と欧州からの移民が領土を拡大してきたアメリカ。
- ④ きれい好きだが質素な食生活をしていた日本人と野性的だが大量にものを消費していたアメリカ人。

問三 傍線部③の「この結果」が指すものとして最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号③

- ① 物量の差にだけ戦争敗北の原因を求めた結果。
- ② 誰も傷付けたくない日本的集団主義の結果。
- ③ 大和魂と武士道精神を具体化した結果。
- ④ 軍隊が官僚組織のように共同体化した結果。

問四 傍線部④の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号④

- ① ジーンズやハンバーガーなどのアメリカ文化。
- ② ものを修繕しながら使い続ける倏約の文化。
- ③ 牛や豚などの動物の肉を日常的に食べる食文化。
- ④ 豊かな物量を惜しみなく使い捨てる消費文化。

問五 傍線部⑤の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号⑤

- ① アメリカでは、個人の自由意志と自由な競争により広大な大地を自分のものにできるが、日本では個人の自由がないだけ収入が年齢に応じて平等になるよう保障されている。

- ②アメリカでは、与えられるべきは個人の自由意志による自由な競争であるのに対して、日本では、個人の能力・努力にかかわらず、平等な待遇や収入が与えられるべきであるとする。
- ③アメリカでは、全員に与えられているのは平等なチャンスであり、結果は本人次第だが、日本では、全員に与えられているのは非正規雇用と年功序列である。
- ④アメリカでは、規格大量生産型の生産方式でグローバル・スタンダードを確立して世界市場を独占したが、日本では受験競争を勝ち抜いた人々が日本式経営を打ち立てた。

問六 傍線部⑥の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号⑥

- ①豊かな経済社会を築く目的のため特異な能力を持つ指導者を養成する社会のシステム。
- ②豊かな経済社会を築く目的のために設けられたプロセスのリングのような規制枠のある社会
- ③豊かな経済社会を築く目的のために形成されてきた規制や管理のない自由で激しい競争社会。
- ④豊かな経済社会を築く目的のため侵略や略奪などのルール違反にも目をつぶる無法社会。

問七 本文に表れている筆者の憂いとして最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号⑦

- ①日本人は何でもアメリカを真似てきたので日本人の独特の価値観を失い、アイデンティティを失った。
- ②アメリカを真似た日本人の夢や希望がアメリカとは全く別のものになってしまった。
- ③日本はアメリカを真似て大量生産の国になったが、アメリカと違って貧乏から抜け出すことはできない。
- ④真の自由を知らない日本人は、社会の全てが管理・規制されている自分の国を自由の国だと思っている。

二 次 の 文 章 を 読 ん で 後 の 問 に 答 え よ 。

八歳の少年にとってはじめて見たアメリカ兵は、正直、カッコよかった。

昭和二十年秋、場所は山手線目黒駅。戦前から駅の売店をまかされていた母と、その日もせまい店の中に居た。四人連れの米兵が店の前に立ち並んだ。まるで壁だ。なにやら喋りかけるのだが母はおろおろするばかり。彼らは諦めて立ち去った。

私は好奇心からあとを追った。ついこのあいだまで「鬼畜米英」と教えられていたが、彼らにそんな気配はないし、うまくすればガムでも貰えるかも知れない。

うしろから見ると目の高さに尻がある。カーキ色の軍服の中には筋肉が詰まっている。いままでに見たことのない人類だ。そして歩いたあとには日本人とはまるで異なる体臭が残る。「バタくさい」という匂いをはじめて体験した。

四人は車に乗り込んだ。はじめて見るジープだ。屋根は幌、支柱はV字パイプ、側面はドアなし。機能むきだし軍用車は、それまで軍用機の絵をしきりに描いていた少年の心をとらえた。走り去ったあとのガソリンの排気ガスが、これまた嗅いだことのない良い匂いで、胸いっぱい吸い込んだ。

こうして、人間と車が残した二種類の「アメリカの匂い」が、私の最初のアメリカである。

焼野原の東京にブギウギのメロディが流れたあとは、もうすっかり①アメリカ文化に無条件降伏、骨の髄までやられた。

ボブ・ホープにアボット・コステロにダニー・ケイ。シナトラにナット・キング・コールにサッチモ。ポール・アンカにプレスリーにペリー・コモ。エリントンにベーシーにマリガン。ジーン・ハックマンにマックイーンにイーストウッド。ウィリアム・ワイラーにビリー・ワイルダーにヒッチコック……。左様、無秩序な羅列である。でもこれがアメリカだ。これでもかこれでもかと押し寄せてくるアメリカ文化の無秩序で巨大な洪水に、ほとんどの日本人は溺れたのである。

そうした中で、私の個人史として、最も重要なアメリカと出会うことになる。「イラストレーション」だ。

この言葉が日本に流布しはじめたのは一九五〇年代のことである。本来の語義は、辞典のカットのような地味な役割の絵をさす。

それが日本に入ってきたとき、ちょうどデザインブームとぶつかって、若いデザイナーや学生たちは、華やかなアメリカの匂いを感じた。

この波にのった、戦後派日本イラストレーター第一期生が、宇野重吉、横尾忠則、和田誠といったスターたちである。私はといえば、同世代であるがまだ自分の表現が見つからず、^②波打際で砂の城を、作っては崩し作っては崩しをやっていた。

そんな性格から後年、さし絵→漫画→戯れ絵と住所不定の身の上になるのだが、いちいち説明するのも面倒、そこで便^aギ上^③ふところの広い「イラストレーター」という肩書きで通している。この点はアメリカ様のおかげといえる。

いままで好きだった食べ物がある日とつぜん厭になる。匂いを嗅いだけで^xげんなりする、ということがある。それに近い感覚を、このところアメリカに対して感じている。彼の国の価値観や美意識が放つ「アメリカの匂い」にげんなりしているのだ。

その一。映画が粗大になっている。

災害、殺戮、破壊、パニック。異常なるものこそエンターテインメントの^bコウ派と錯覚していると思えない。そしてそれを、大製作費→大仕掛け→大宣伝→大収益という「大づし連鎖装置」で回している。もはや文芸や人情といったかよい^④戦力外のものは、この巨大装置から振りとばされてしまうのだ。もはやワイルダーの出る幕はない。

その二。人権意識がおかしい。

熱いコーヒーを自分のミスでこぼした老婆が、火傷をしたのは店のせいだと訴えた。驚くなかれ裁判官はこれを認め、何億円かの^cイ謝料を命じた。さすがにアメリカでも極端な例だから広く報じられたのだろうが、ゴネ得の訴訟社会がますますエスカレートしているときく。住みたくない。

その三。金権主義が目につく。

流行語になった「M&A」とは、早い話が「乗っ取り」だろう。彼の国では日常茶飯事だと専門家が解説していた。そのせいか最近日本の有名なホテルのいくつかに、妙な横文字がくつついている。それが合併なのか乗っ取りなのか実情は素人にはわからないが、「カネの力でできないことはない」「それがサクセスストーリーなのさ」の国のやりそうなことだ。

その四。ヒステリックな健康主義。

肥満や喫煙に対しての異常なまでの拒否反応に驚く。快食にまかせて太るのも、精神安定のために一服するのも、個人の幸福観の問題である。^⑤そういう文化を断じて撲滅せずにはおかまいというのは一種の国家的ノイローゼだ。ヨーロッパ人が馬鹿にするはずだ。

その五。大国らしからぬ振舞い。

地球温暖化防止の「京都議定書」にアメリカは反対した。めずらしく日本が国際の場でリーダーシップをとった会議だ。弟分の日本の顔を立ててもよさそうなものだが、自国の産業界の顔色を窺つての判断だろう。ふだん世界のリーダーを自^d二二している大国らしからぬ^y料簡のせまざだ。

その六。外食産業の^z跳梁破屋。

世界中のあらゆる都市にはそれぞれの歴史と景観がある。アメリカはそこに、あのマニュアル化された原色の店舗を持ち込んでくる。^⑥街のたたずまいを一顧だにせず土足で踏み込んでくる侵略商法は誠に不快だ。調和という美意識のない国なのだ。

善かれ悪しかれアメリカは、世界で一番ダイナミズムの匂いをふんふんとさせる国である。それが他国の若者にはカツコよくうつり、大人には鬱陶しく感じられる。

^e私のアメリカ観も、つまるところはこの「アメリカの匂い」に対する、若い頃の憧れと大人になつてからの^e書避という、変遷の歴史である。山藤章二の文章による

問一 波線部 a～e のカタカナを漢字に改めたものとして最も適当なものをそれぞれ次の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 a ⑧ b ⑨ c ⑩ d ⑪ e ⑫

- | | | | | | |
|---|-------------|---|-------------|---|-------------|
| a | ①義 ②宜 ③技 ④儀 | b | ①鋼 ②行 ③香 ④鉦 | c | ①慰 ②医 ③異 ④遺 |
| d | ①任 ②認 ③忍 ④仁 | e | ①棄 ②軌 ③貴 ④忌 | | |

問一 傍線部①の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **13**

- ①アメリカによって日本の精神文化を否定された。
- ②日本人が膨大な物量を持つアメリカに圧倒された。
- ③日本人がカッコいいアメリカ文化の虜になった。
- ④日本人が無秩序なアメリカ文化に混乱させられた。

問二 傍線部②の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **14**

- ①自分の独創的なものを確立できずに試行錯誤を繰り返していた。
- ②これと言った仕事に就くこともできずに海水浴ばかりしていた。
- ③戦後派日本イラストレーターの草分けとして水際立つ活躍をした。
- ④デザインブームの波に乗り次から次に仕事が増えて多忙を極めた。

問三 傍線部③の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **15**

- ①職業名を英語で言う方がアメリカ兵によくわかる。
- ②自分の職業名を説明するが日本語では通じない。
- ③自分の漫画家という職業を隠すのに都合がいい。
- ④自分の職業名として曖昧だが幅広く融通が利く。

問四 傍線部④の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **16**

- ①人情の機微や文学を映画にしても地味なものであるため映画祭の評価が低い。
- ②文学や人情の機微を表現した映画は刺激的でないため大きな収益を上げられない。
- ③人情の機微や文学は映画化してもエンターテインメントとしては成立しない。
- ④文学や人情の機微は現代の人々に受け入れられず、映画にしても意味がない。

問五 傍線部⑤の「そういう文化」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **17**

- ①肥満や喫煙に対して異常なまでに拒否反応を示す人権絶対主義の文化。
- ②自分の健康のためは他人の自由な喫煙権を奪うという自己中心的な文化。
- ③自由に喫煙し、食いたいだけ食うという個人の幸福感を追求する文化。
- ④アメリカ資本主義の「カネの力でできないことはない」という金権文化。

問六 傍線部⑥の意味として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 **18**

- ①世界中の美しい自然環境を破壊してでもアメリカこそが世界のスタンダードだと認めさせる。
- ②相手国の宗教的な環境、しきたり言語などを無視して、経済の力を強引に押しつけてくる。
- ③日本の景色に調和するかしないかなどと考えもせず、自分のやり方を強引に押しつけてくる。
- ④世界一ダイナミックな国アメリカが、世界の正義であり基準でありリーダーだと認めさせる。

問七 傍線部X～Zの本文中での意味として適当なものをそれぞれ次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 X **19** Y **20** Z **21**

- X ①飽きてうんざりする ②疲れてぐったりする ③意欲がそそられる ④憧れを抱く
- Y ①知識がないこと ②金銭的にけちなこと ③思慮深くないこと ④寛大な心であること
- Z ①色彩がけばけばしく下品なこと ②大変便利で都合のいいこと
- ③画一的で風流でなく味けないこと ④悪者が勝手に振る舞いのさばること

次のA～Eの言葉の使い方として適切なものをそれぞれ次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A ☐22 B ☐23 C ☐24 D ☐25 E ☐26

A おためごかし

- ①僕のおためごかしで見事入賞した。
- ②おためごかしの親切はやめてくれ。
- ③おためごかしを貸してくれないか。
- ④母のおためごかしが今はありがたい。

B 茶々を入れる

- ①ボラステイアに疲れ果ててひとまず茶々を入れることにする。
- ②真剣に意見を述べている時に茶々を入れるとは失礼な。
- ③二年ぶりに復活した投手が久々に全力投球で茶々を入れる。
- ④故郷をこの上なく茶々を入れる友人たちが久々に集まった。

C にべもない

- ①懸命にお願いをしたがにべもない返事で断られた。
- ②にべもないランナーがやつとゴールインした。
- ③米国と中国の貿易摩擦は日本にはにべもない。
- ④外国の細かい法律を知らなかったのにべもない。

D あつらえむき

- ①もう二度とあつらえむきのことは言わないようにしよう。
- ②残念なことに今日の遠足にあつらえむきの雨だ。
- ③少年時代のあつらえむきが今の成功につながっている。
- ④ホームランにはあつらえむきの風が吹いていた。

E 杜撰^{ずさん}

- ①日本アルプスを縦走するのは私にとっては杜撰^{ずさん}だ。
- ②杜撰^{ずさん}な民主主義が公平で平等な社会を築く基本だ。
- ③杜撰^{ずさん}な工事をしてあつたために橋はすぐに壊れた。
- ④東京オリンピックに向けて選手は連日杜撰^{ずさん}している。

次のa～hのカタカナの示す熟語として適当なものをそれぞれ後の①～③の熟語の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 a ☐27 b ☐28 c ☐29 d ☐30 e ☐31 f ☐32 g ☐33 h ☐34

a キョウドウ事業

- ①教導 ②協同 ③共同

b 社長としてテキカクな人

- ①適確 ②的確 ③適格

c 互いに非難のオウシユウ

- ①押収 ②応酬 ③欧州

d カネツ殺菌する

- ①過熱 ②加熱 ③火熱

e このままでは台風上陸はヒツシ

- ①必至 ②必死 ③筆紙

f 指定された人に資料をハイフする

- ①配布 ②配付 ③肺腑

g 審判の判定に強くコウギする。

- ①広義 ②講義 ③抗議

h 東京までのシヨウウ時間

- ①所要 ②所用 ③諸用

五

次の a ～ i の熟語の構成として適当なものをそれぞれ後の ① ～ ④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 a 35 b 36 c 37 d 38 e 39 f 40 g 41 h 42 i 43

a 入学 b 絵画 c 摩擦 d 叙景 e 撤去 f 抹茶 g 親疎 h 良心 i 善悪

- ① 下の字が上の字の目的語・補語となっているもの
- ② 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの
- ③ 上の字が下の字を修飾しているもの
- ④ 同じような意味の漢字をかさねたもの

六

次の a ～ g の四字熟語の意味として適当なものを後の ① ～ ⑨の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 a 44 b 45 c 46 d 47 e 48 f 49 g 50

a 唯々諾々 b 一念発起 c 温故知新 d 快刀乱麻 e 玉石混淆 f 吳越同舟 g 切齒扼腕

- ① 仲のよい者が同盟を結ぶこと。
- ② 古いことを研究し新しい道理を得ること。
- ③ よいもの悪いものが混じること。
- ④ 複雑な物事を明快に処理すること。
- ⑤ 敵同士が一つ所に居合わせること。
- ⑥ 事の遂行を決心すること。
- ⑦ 優れたものにさらに磨きをかけること。
- ⑧ 大変くやしがること。
- ⑨ 事の善悪を考えず人の言うままに従うこと。

七

次の戦後文学についての文章の () a ～ e に入る人物名として適当なものを後の ① ～ ⑧の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 a 51 b 52 c 53 d 54 e 55

昭和二十一年に刊行された雑誌「近代文学」を中心に活躍した作家たちを第一次戦後派といい、『暗い絵』『真空地帯』などを書いた (a)、『桜島』などを書いた (b)、『深夜の酒宴』などを書いた椎名麟三らがいる。彼等は政治よりも人間を優位に置く文学を主張し、近代的な自我の確立を目指した。

第一次戦後派に続いて『俘虜記』『野火』などを書いた (c)、『仮面の告白』『潮騒』『金閣寺』などを書いた (d)、前衛的な作品『壁』『砂の女』などを書いた (e)、『死の棘』などを書いた島尾敏雄など個性的な才能を持つ新人が現れた。彼等を第二次戦後派とよび、この後第三の新人と呼ばれる作家たちが登場する。

- ① 安部公房 ② 野間宏 ③ 大岡昇平 ④ 太宰治 ⑤ 三島由紀夫 ⑥ 大江健三郎 ⑦ 梅崎春生 ⑧ 古行淳之介